

カトリック河原町教会だより

2012年11月

信仰年 開始ミサ

10月11日午後3時より「信仰年開始ミサ」が大塚司教の司式によって行われました。大塚司教は説教と司教メッセージを通じ、全世界のカトリック教会で催される「信仰年」についての意義とその重要性を語られました。この「信仰年」開催は昨年10月16日、サンピエトロ大聖堂での教皇ベネディクト16世司式によるミサの説教の中で発表されたものです。「信仰年」は、第2バチカン公会議開幕50周年の2012年10月11日に始まり、2013年11月24日の王であるキリストの祭日に終わり

ます。信仰年にあたり、教皇ベネディクト16世の自発教令『信仰の門(ポルタ・フィデイ)―「信仰年」開催の告示』を読むことを勧められています。

今年は、福者ヨハネ・パウロ2世の『カトリック教会のカテキズム』発布20周年の記念の年でもあり、また、第1回福音宣教推進全国会議(NICE I・1987)から25周年になります。この節目の年を迎え、「信仰年」が実りあるものになるよう祈りましょう。



信仰年 開始ミサ

待降節黙想会



秘跡ある生活

—ゆるしと聖体—

日時：2012年12月15日(土)
午前10時～午後4時

指導司祭：溝部 脩 司教

場所：河原町教会聖堂

持ち物：聖書、筆記用具

10:00～11:00 第1講話

11:00～12:00 個人黙想

12:00～13:00 昼食(各自)

13:00～14:00 第2講話

14:00～15:00 個人黙想

15:00～16:00 ミサ

*個人黙想の間にゆるしの秘跡を受けられます。*昼食は各自でお願いします。(1階集会室を使用できます。)

主催 カトリック河原町教会

心合わせて ロザリオの祈り

10月はロザリオの月で、毎日曜日10時半ミサ前、10時よりロザリオの祈りを皆で心を合わせて唱えました。

王であるキリスト

11月25日は「王であるキリスト」の祭日です。典礼暦最後の主日に「王であるキリスト」を祝い、栄光のうちにキリストが再臨されることを待望しながら一年の暦を閉じ、翌週から新しい典礼暦の始まりである待降節に入ります。

キリストとは、ヘブライ語のメシア(油注がれた者、王、救い主の意味)という称号のギリシア語です。イエスは、「わたしの国はこの世には属していない」(ヨハネ 18:36)と言われたように、人々が求めたこの世的な意味での王、救い主ではありませんでした。人々のために自分の力を使って、病人を癒やし、悪霊を追い出し、奇跡を行われたイエスは、最後までその力を自分のためにはまったく使われず、自分自身



は無力そのものとなられ、十字架を受け入れられました。イエスは神の子ですから、十字架の苦しみから自分を救うこともできたでしょう。イエスは、自分を救えないのではなく、自分を救わないことによって人々を救われたのです。十字架から降りないこと、自分の救いにおいて無力であることによって、わたしたちの救い主、王だということを表されました。十字架の死に至るまでわたしたちの罪を担い、苦しみを共にしてくださるイエスの中に希望と救いを見て、そのイエスを信じるとき、わたしたちはすでに救われ、永遠のいのちに入っています。わたしたちの救いは、将来のことでなく、今、神を信頼することによってもたらされるものなのです。

Q & A 衣笠墓苑

衣笠墓苑の使用について、京都教区の「衣笠墓苑管理委員会」に聞きました。(金額は2012年1月1日現在のものです。)

Q:衣笠墓苑の場所はどこでしょうか

A:衣笠教会からカリタス会が運営する施設やカルメル会修道院に続く山道を10分ほど登った所、左大文字の山の中腹に、墓地、納骨堂、合同納骨室があります。



衣笠墓地

Q:墓地の使用方法は

A:使用許可を得た墓域の土地に十字架の墓標を建て、墓石の納骨箱に納骨します。墓域の面積は、縦横120cm 四方です。清掃、除草は使用者が行わなければなりません、遠隔地に居住、高齢などの理由で、業者に委託することが可能です(有料)。墓地の使用料は30万円、祭儀費は年間5千円です。墓標は指定業者による規定のものに限ります(約30~40万円)。

Q:納骨堂の使用方法は

A:管理委員会の使用許可を得て、納骨堂の個人ロッカーに納骨します。ロ

ッカーの広さは、高さ56・幅36・奥行47cm で、扉に名前を記します。使用料は35万円、祭儀費は5千円(年)です。名板プレート代として別途2千円~が必要です。



納骨堂

Q:合同納骨室の使用方法は

A:納骨堂正面にある合同納骨所に納骨し名板に記名表示します。この場合、一旦納骨された遺骨を取り出すことはできません。使用料は1万円~で、祭儀費は年間祭儀費の10年分を一括納入します(現時点で、年間祭儀費は5千円です)。この祭儀費は初回のみで、10年以降のさらなる負担は発生しません。名板プレート代として2千円~が必要です。



合同納骨室

Q:衣笠墓苑の納骨は信徒のみに限られるのでしょうか

A:原則として衣笠墓苑は信徒に限られますが、事情により信徒以外にも納骨することができます。詳細は墓苑管理委員会にご相談ください。



納骨堂の外観

Q:衣笠墓苑の使用についてどこに問い合わせればよいでしょうか

A:会館の7階に衣笠墓苑管理委員会の事務室があります。火曜日と金曜日(午前10時~午後4時)にお問い合わせください。☎075-211-3476

天使の歌声

聖堂に響きわたる!

10月11日(木)午後7時よりニュージランド・クライストチャーチのプレスト・サクラメント大聖堂合唱団&管弦楽団によるコンサート「マニフィカト」が催されました。ブルックナーの「アヴェ・マリア」、ヴィヴァルディの「マニフィカト」(聖母マリア賛歌)、モーツァルトの「アヴェ・マリア」等10曲を披露。厳かで、晴れやかで、希望に満ちた天使の歌声は、200名を超える聴衆を魅了しました。



プレスト・サクラメント大聖堂合唱団&管弦楽団

役員選挙日程

- ・公示日 十一月四日(日)
- ・推薦受付締切日 十一月十八日(日)
- ・投票日 十二月一日(土)、二日(日)

各部報告事項

▼財務部

各部の二〇一二年度予算執行報告および二〇一三年度予算案並びに複数年予算案を十一月十八日までに提出を要請、各部調整の上、来年一月の総会で承認を得る。

▼典礼部

教区合同追悼ミサは河原町教会典礼部が担当。

▼施設管理部

①会館の配水管が老朽化により全面的な改修が必要。負担額が大きいため、数年がかりとなる。②集会室一階の塗装と、ツギンク工事十月二十五日(木)、二十六日(金)に行う。③聖堂へのリフトの新設を検討。

▼広報部

①河原町教会案内パンフレットの英訳が司教様の認可を得て完成。受付にて保管。②コンサート開催や団体での教会巡礼訪問の場合の申請用紙(案)を作成。今後の対応については再検討。③今月より河原町教会だより編集部が広報活動連携のため評議会にオブザーバーとして参加。

▼教育部

①河原町教会待降節黙想会ポスター案を提示し決定。②ウオーカソンに土曜学校から参加。十月二十一日(日)、二十八日(日)にスポンサー募集。③中高生会遠足 十月二十一日。神戸中央教会ミサ参加、神戸モスク、中華街見学の予定。④聖書通読会 十一月二日(金)よりスタート。⑤青年黙想会 十一月九日(金)、十日(土)。

司祭紹介

グレアム パトリック マクドナル 神父

プロフィール

1927年5月31日生まれ(85歳)
 アメリカ ミシガン州出身
 メリノール会神学校で9年間学び、
 その後コロンビア大学でジャーナ
 リズムを専攻する。
 1958年6月14日 司祭叙階(31歳)
 1960年 来日
 1964年よりハヤット神父のもとで
 「心のともしび運動」に携わる。
 約30年間英会話センター(現在は
 終了)で指導。

現在の主な奉仕

- ・河原町教会 英語のミサ担当
- ・「心のともしび運動」代表

◆「心のともしび運動」60周年、ラジオ番組放送1万5千回

1952年、ハヤット神父によって始められた「心のともしび運動」が60周年を迎え、1957年に始まったラジオ番組「心のともしび」は1万5千回を超えました。この長きにわたってのマスコミ宣教活動に対して教皇ベネディクト16世より、祝福の「ペルガメーナ」(イタリア語で羊皮紙の意)をいただきました。現在も全国38局の民放を通じて放送されています。京都では KBS 京都で月曜日から土曜日の毎朝5時15分に放送されています。

◆ハヤット神父の情熱を受け継ぐ

今から60年前の「善き牧者の主日」に、ハヤット神父は「ぜひお友達を教会に連れてきてください」と呼びかけて、京都での「心のともしび運動」が始



まりました。現在、わたしがハヤット神父の宣教への情熱を受け継いで、この運動を続けています。活動はラジオ番組の全国放送、テレビ番組の衛星放送、機関紙「心のともしび」の発行等を行っています。詳しい内容は「心のともしび」のホームページに掲載されています。

◆日々の信仰生活に大事なことは

ラジオ番組は「暗いと不平を言うよりも、すすんであかりをつけましょう」という言葉で始まります。わたしたちは世の中をもっとよいところにするために、大きなことはできないかもしれませんが



教皇ベネディクト16世からの祝福のペルガメーナ

が、誰でもほほえむことはできるはず。小さなことですが、長い人生の間に、毎日ほほえみかけることによって、この小さなことが積み重ねられて、大きな実を結び、大勢の人々に幸せを広めることができるのです。(ハヤット神父「太陽のほほえみ」より)

◆平和のための祈りとその実行

わたしの好きな祈りはアシジの聖フランシスコの「平和のための祈り」です。毎日この「平和のための祈り」を唱え、その中の一つを実行することです。そして、そうできるように祈ってください。そうするうちに、いつかイエス様に近づくことができます。まず3日、そして3週間、3か月と続けてください。

◆両親から学んだクリスマス

わたしがクリスマスの本当の意味を知ったのは7歳の時でした。ある日、父がカーテンを外しているのを見ました。何をしているのか尋ねたところ、母がふり返り、父が勤めていた会社の人が失業して、家族6人、服も食べ物もなく、苦しんでいることを話してくれました。そして台所からじゃがいもの袋をもってきて、ダイヤモンドを分けるかのように大切に二つに分けました。我が家の台所にあった唯一のものでした。父はカーテンとじゃがいもを持って出かけました。その人は特に親しかったわけでもなく、宗教も故郷も異なる人でした。「もらうことより、与えること、分かち合うこと」の大切さを身をもって教えてくれたのです。クリスマスが近づくと思い出します。

河原町教会十月評議会報告

ブロック会議報告事項

▼各小教区待降節黙想会スケジュール決定。
 河原町教会は十二月十五日(土)午前十時から。指導司祭 溝部脩司教様。

▼司教ブロック訪問

九月十六日(日)山科教会訪問。大塚司教様は年頭書簡の「信仰のセンス」の説明をされ、皆でロザリオの祈りをささげました。

▼小教区評議事項

▼来年度予算作成の基本方針

共同宣教司祭の観点から、各部の責任業務を明確にし、それに基づいて予算を作成する。複数年にわたる予算については、その全体予算額と各年度の予算をスケジュール化し予算化する。共同宣教司祭実現及び緊急度合いの観点から優先順位を決め、各部との調整の上、来年度予算を作成する。

▼十月―十一月行事

- ・十月主日の十時半ミサ前 十時からロザリオの祈りを唱える。来年も継続。
- ・墓地清掃日程 衣笠墓苑十月十四日 大日山墓地十月二十八日。
- ・死者の日の合同追悼ミサ
 十一月二日(土)午後六時半
- ・教区合同追悼ミサ 十一月四日(日)午後二時 衣笠教会(墓参各自)、大日山墓地 七五三お祝い
- ・十一月十一日(日)十時半ミサ
- ・クリスマス行事は昨年と同じ。但し、チャリティーコンサートの入場料は千円に変更。

▼来年度役員選挙

選挙管理委員は留任。役員一名が転出のため来年度役員は三名を選出。新役員(三名)の任期は規定通り二年。

●2012年11月～2013年1月の行事予定●

(12月、1月は予定ですので、変更の場合もあります。)

11/1	木	諸聖人の祭日	
11/2	金	死者の日 合同追悼ミサ 18:30	
11/3	土	第33回京都南部ウォーカーソン	
11/4	日	教区合同墓参(衣笠教会、大日山墓地) 14:00	
11/11	日	七五三お祝い 10:30のミサで	評議会 11月例会
12/1	土	2013年度教会役員選挙投票日	
12/2	日	2013年度教会役員選挙投票日	評議会 12月例会
12/14	金	～22(土) 御降誕祭準備礼拝 6:30	
12/15	土	待降節黙想会 10:00～16:00	
12/16	日	クリスマスチャリティーコンサート 15:00	
12/23	日		教会美化デー
12/24	月	クリスマス市民の集い 18:30 主の降誕夜半ミサ 21:00	
12/25	火	主の降誕ミサ 7:00 10:30	
1/1	火	神の母聖マリア 元日ミサ 7:00 10:30	
1/6	日	主の公現	評議会 1月例会 14:00
1/26	土		洛東ブロック会議(山科教会)
1/27	日	村上透磨神父様霊名のお祝い	河原町教会総会 10時半ミサ後

お知らせ

◇今年の聖書週間は11月18日(日)から25日(日)です。1976年11月の臨時司教総会で、全国的に聖書に親しみ、聖書をより正しく理解するための運動として、毎年11月の第3日曜日からの1週間を「聖書週間」とすることが決定されました。今年のテーマは「わたしは信じます。わたしは弱いときにこそ強いからです。」(2コリント12:10)

◇聖堂地下のヴィリオンホールに十字架と折り畳み式ステージ、暗幕を設置しました。十字架は1989年に桑名教会設立30周年を記念して造られたもので、鋳物製です。暗幕の設置で映像等がより鮮明になりました。

◇訂正:前号3頁の村上真理雄神父様の学ばれた神学校の名称をサン・スルピス大神学院(現在 日本カトリック神学院福岡キャンパス)に訂正いたします。

◇郵送サービスのお知らせ

「河原町教会だより」を様々な事情で教会に来られない方々に郵送いたします。ご希望の方は送り先の名前と郵便番号、住所を教会事務室までお知らせください。

◇お願い:ご家庭で眠っている未使用の切手がありましたら、3階教会事務室までお願いします。「河原町教会だより」の郵送に使わせていただきます。



河原町教会だより 編集スタッフ募集!

河原町教会だよりの編集スタッフを募集しています。編集会議は原則として月に1回。メールでの打合せ、原稿作成、校正等を行っています。広報活動に関心をお持ちの方は、下記のメールアドレスにお問い合わせください。当教会の信徒であること、広報部に所属することが条件です。

河原町教会 ミサの時間

日曜日(主日のミサ)	7:00	
	10:30	
	12:00 (英語)	
月曜日	6:30	
火曜日	6:30	18:30
水曜日	6:30	18:30
木曜日	6:30	
金曜日	6:30	18:30
土曜日	6:30	
	18:30 (主日のミサ)	

信仰の学びの講座・集い
どなたでも自由に参加できます。

◆信仰入門講座◆

(場所は1階集会室)

火曜日	10:00	花井 拓夫 神父
	19:15	ボアパール 神父
水曜日	10:00	村上真理雄 神父
	19:15	ボアパール 神父
	19:00	花井 拓夫 神父
		(3階 応接室)
金曜日	19:15	村上 透磨 神父

◆信徒養成講座◆

信仰をより深めたい信徒の方のための講座です。(月に1回)

担当司祭 北村 善朗 神父
テーマ「秘跡を学ぶ」

11/15(木)	14:00
12/6(木)	14:00
2013年1/31(木)	14:00

テキスト:『カトリック教会のカテキズム要約』

◆聖書通読会◆

毎週金曜日 14:30～16:00
河原町教会 1階 集会室
主催 教育部

毎週1回金曜日、旧約聖書の創世記から始めて、新約聖書の黙示録まで、グループで輪読しながら全巻を読む集いです。

カトリック河原町教会だより 2012.11

発行:カトリック河原町教会 担当司祭:花井 拓夫 編集:河原町教会広報部

住所:〒604-8006 京都市中京区河原町通三条上る下丸屋町423 E-mail:kyoukaidayori@yahoo.co.jp

電話:075-231-4785 ファックス:075-211-8021 ホームページ: <http://kawaramachi3.com/>